

アジア石油化学工業会議（A P I C 2 0 1 6）の開催結果について

- (1) 日時 : 2016年5月19日(木)～20日(金)
- (2) 場所 : Raffles City Convention Centre (シンガポール)
- (3) 主催者 : Singapore Chemical Industry Council (SCIC)
- (4) 参加者数 : 1,135人 (36か国、内日本からの参加220人)
- (5) 内容 :
テーマ : “The New Challenge: Promoting Flexibility, Innovation and Efficiency to Drive Sustainable Growth”

5月19日(木)

ケミカルマーケティングセミナー

IHS, Platts, ICIS, Nexant がそれぞれ石化産業の主要なテーマ(15名のプレゼンター)に基づき、プレゼンテーションを実施。

主なテーマとしては、以下の通り。

- ・世界経済の趨勢 (例:2016～2020年: GDPは2～4%の伸び by IHS)
- ・原油、ガス、ナフサ等フィードストックの動向 (例:原油価格は2018年迄に60\$超え by Platts)
- ・オレフィン、ポリオレフィン、アロマの動向 (例:オレフィン供給の成長はUSと中東が原動力 by ICIS。アロマ需要はGDPにリンクして成長 by IHS)
- ・環境対策 (COP21 対策その他)
- ・中国、インド情勢
- ・Bio-renewable の促進(例:三菱化学 PC、Lava Tec(New Zealand) by Nexant)

5月20日(金)

- ① 総合会議 (Opening Address : 7 協会長, Keynote Speech : 2 名)

Dr. Tay Kin Bee (シンガポール協会会長、Independent Director, MegaChem Ltd. Singapore)

(要旨)

- ・化学業界には新たな成長の芽が出現しているというグッドニュースがある。それは急速な都市化、人口動態の変動、アジアでの人口増加及び中流階級の勃興が高品質の製品とサービスの巨大な需要を生み出す可能性があるということである。
- ・コスト効率と生産性の向上のために、複数のソースがあるフィードストックと先端素材を活用して生産技術を確立するのみならず、気候変動や資源の制約といった環境対策にも取り組まなければならない。
- ・化学産業は世界の経済成長に重要な役割を果たしており、良好なガバナンス、コンプライアンス及びレスポンシブル・ケアの実行がその基盤であり、シンガポールは様々なインフラの活用を含め、それを実行している。

淡輪石化協会長代行

(要旨)

- ・アジアの経済状況は、中国は減速し、日本は低成長を余儀なくされているが、アセアン諸国とインドは好調である。これは原油価格の低下の恩恵を受けたナフサクラッカーを主体とする石化産業も寄与している。本年度の APIC がシンガポールで開催されるのは時宜を得ている。
- ・一方、石化産業は地球温暖化対策、特に昨年の COP21 のパリ協定にいかに取り組みか、また海洋マイクロプラスチックの増大という新たな課題にも対応しなければならない。
- ・石化協では4つの事業課題を掲げているが、そのうち「保安・安全の確保」を最重要課題としている。各国の関係者と有意義な意見・情報交換を行いたい。



JPCA 淡輪会長代行



SCIC Bee 会長

② キーノートスピーチ

Mr. Kurt Aerts (Vice President, Global Specialty Elastomers and Butyl Business, ExxonMobil Chemical Company)

“Integration and Innovation for a Sustainable Future”

(要旨)

- ・化学産業の未来は明るい。
 - (1) 中流階級の増大が需要の成長を促す。
 - ・世界の化学品需要の成長は GDP の成長を上回っている (2000～2015 年) 2015 年から 2030 年にかけて、非 OECD 諸国の生活水準の向上が、化学品需要の成長に繋がる。
 - (2) 統合と変革が持続的成長のキーとなる。
 - ・エネルギーとフィードストックの市場の変化が激しいため、それへの取り組みが重要である。
 - ・温室効果ガス削減等の環境対策の実行も併せて行う必要がある。
世界の自動車生産台数の予測は 3 %/年超であり、タイヤ空気圧の保持が GHG 削減に大きなポテンシャルがある。また、プラスチックの採用も軽量化等により燃料効率の向上に寄与する。

Mr. Olivier Thorel (Vice President, Global intermediates and Ventures,
Shell Chemicals)

“Growing Asia’s Petrochemicals Together”

(要旨)

- (1) 化学品需要（PE と PP）の成長は、新興国の経済成長により、2030 年には 2013 年対比 2 倍となる。
- (2) 化学産業の今後の方向性は以下の三つである。
 - Innovation
 - Sustainability
 - Partnership (Shell の例:SADAF, PCS/TPC, INFINEUM, NANHAI)



ExxonMobil Chemical カート・アーツ副社長



Shell Chemicals オリビア・トレル副社長

③ 製品別分科会（7 分科会：副議長を石化協が担当）

④ フェアウェルパーティー

来年の札幌開催を淡輪会長代行より宣言され、プロモーションビデオ放映を行い、多数の参加を促した。

以 上



総合会議